

平成 26 年度第 1 回 地域福祉計画地区推進会議

【南部地区】（議事概要）

■ 日 時 平成 26 年 9 月 8 日（月）18：00～19：50

■ 場 所 行徳公民館 4 階 第 2・第 3 学習室

■ 出席者

地区委員 : 21 名

社会福祉協議会 : 4 名

コミュニティワーカー : 3 名

地域福祉支援課 : 7 名

南行徳保健センター : 1 名

■ 配布資料

《 事前送付資料 》

- ・資料 1 介護保険制度の改正について
- ・資料 2 地区別計画検討状況
- ・資料 3 平成 26 年度 地域福祉推進関連予算（抜粋）

《 会議資料（机上配布） 》

- ・会議次第
- ・参考 地区推進会議委員名簿
- ・第 3 期市川市地域福祉計画（平成 25 年度～29 年度）概要版

■ 協議内容

○開会宣言

○課長挨拶

○職員紹介

○資料の確認

事務局

○地区推進会議の位置づけの確認

○地域福祉計画の概略の説明

■次第 1 介護保険制度の改正について

事務局

《資料説明 資料 1 介護保険制度の改正について》

南行徳地区第5ブロック 歌代委員

この制度改正については、「民」の力を活用していこうという国の方針であると思われるが、そのためには自治会などといった組織とは違うものが出てこなければならない。ということは、「官」の力でもって、そのような組織の運営を指導していくような方法が必要ではないか。現在、市川市ではコミュニティワーカーが3人いるが、それを4人にしていくといった話が立ち消えになってしまっているようである。

事務局 野口課長

コミュニティワーカーについては、現在確かに3人であるが、今後、制度改正における国の示す「コーディネーター」との整合性を取る必要がある。介護予防・生活支援の基盤整備において、新たなサービスの創出や調整を行うにあたり、例えば、これまでコミュニティワーカーと皆様の協力のもと、取り組んできたサロン活動などは111箇所にも増えてきた実績がある。「コーディネーター」の業務内容が、現在のコミュニティワーカーの業務と非常に似通っていることから、今後、精査した上で、介護保険の制度と整合性を取りながら、役割を充実させるのと併せて量的にも増員をしていこうとしている。現在、来年度に向けて介護保険事業計画の策定作業中であるが、地域福祉計画とも整合性を図りながら、コミュニティワーカーとコーディネーターを別個に考えるのではなく、充実させていく方向で検討している。

南行徳地区第5ブロック 歌代委員

今後、協議体といった組織を作って、「民」の力を借りていくうえで、行政がもっと主導していかなければならない。そのためには、コミュニティワーカーなり、コーディネーターといった人員を大勢配置しなければ、協議体がなかなか立ち上がってこないものと思われ、市川市としてはどのように考えているのか。

事務局 野口課長

地域の方々をお願いするというだけでは、なかなか立ち上がっていかないものと考えており、ニーズの汲み上げを行うのとそれに対する支援のための組織づくりもしていかないといけない。これは、市川市として進めている地域ケアシステムがベースとなったうえで、それを介護保険の事業とどう結び付けていくかということも、行政としては計画に位置づけていくこととなる。当然、経費の問題も出てくるものと思われ、現在の地域ケアシステムは、市川市が独自に進めていることから、これをより国や制度を利用しながら、地域の皆さん、行政、社会福祉協議会、その他、NPO等とも協力してまとめて行くよう積極的に取り組んでいきたい。地域にお任せする、丸投げするというのではなく、一緒にやっていくような方向で取り組んでいく。市川市でいうと、例えばサロン活動などは、社会福祉協議会、地域の皆様の取り組みのおかげで充実してきたこともあり、高齢者の介護予防・生活支援のための「通いの場」というようなものについては、これまでのサロンを発展・充実させていくようなことも考えられる。それに際しては、やはり行政も一緒にやっていかないといけないと認識したうえで、計画を策定していきたい。

行徳地区社協副会長 阿部委員

介護保険制度を考える上で、現在、生活保護受給者が増加している。このような受

給者は、保険料を負担していない。ところが、これまで 40 年間も仕事してきた市民は、高額な保険料を負担しており、これまで努力して貯蓄してきた資産までも勘案するといった考えが理解できない。それに対して、生活保護受給者は国から年金より多くの支給があるうえ保険料も無料というのでは、一生懸命働いてきた者が馬鹿を見るような矛盾した制度になっていると思われる。現在の年金受給者は、支給額は減る一方で、保険料の負担が増えていく。それで、高齢になったときに入居する施設もない。

それで、民間や自治会にお願いするというのでは、「民」ばかりが負担が増えて、生活保護受給者は楽ができるというのが、疑問に感じている。大体、国が決めたことということで濁されてしまうが、そのあたりを各自治体で対策を検討しないといけない。市川市としては、どのように考えているのか。

また、行徳地区には高齢者施設がない状況で、「民」の力を借りるというのであれば、いざというときに入居できるような施設整備といった点についても、計画に含まれていくのかということも伺いたい。

事務局 野口課長

非常に難しい問題である。保険料の負担に関しては、例えば、保険を利用しない方々に対するインセンティブのようなものも方法として考えられるかもしれない。

生活保護の件については、国の制度ということもあるが。

行徳地区社協副会長 阿部委員

それは認識しているが、要介護の認定の仕方も不明瞭である。認定の際に、診断を受ける医師のさじ加減があるように思われる。例えば、施設に入るためにちょっと重い状態に書いてもらえないかということに対し、そこに医師のさじ加減があるといった噂も聞いている。

事務局 野口課長

介護の認定については、決まった項目として自身の体の状況を確認した上で、医師の診断による部分がある。医師がどのように評価するかは何ともいえないが、現実的にそのような話があるかどうか不明である。

また、施設の整備については、来年度も 1 箇所整備する予定となっているが、場所の問題として、市川市においては民設民営でやっていることから、事業者側が土地を探してくることになり、地価の問題などから北部地区に偏りがあるのは現状として事実である。ただ、入所に関しては、市民であれば差が生じるものではなく、また、本来であれば住み慣れた場所で一貫して生活できるような施設も含めた環境整備ができればと思われるが、都市部においてはなかなかそうも行かないというのが現状であり、課題として認識している。今後、どれくらい施設を整備していくのかについては、今後、高齢人口の伸び率等などから計画的に進めていくこととしている。

計画を策定していくうえでは、今後もご意見を伺う機会を設けていく予定であり、ご指摘のような意見も含めて、ご協力いただければと考えている。

南行徳地区第 5 ブロック 矢島委員

先ほどの意見で、一生懸命やってきた人間が損をするのではないかといったことについて、今後、議会等で審議していくこととなるのか。また、コミュニティワーカー

に関する事などについても、地域の意見をどのように受け止めていくのか。そのような体制については、どうなっているのか。

事務局 野口課長

地区推進会議での審議については、庁内推進連絡会などに報告し、適宜、計画に盛り込んでいきたい。

南行徳第5ブロック 歌代委員

報告の場としては社会福祉審議会があり、そのような場でこのような意見があったということを伝えていただきたい。

事務局 野口課長

この会議のみで終わりにするという事はない。

■次第2 第3期地区別計画について

《方向性1 身近な場所での活動の場の確保・充実》

事務局

行徳地区においては、昨年度よりサロンが2つ立ち上がり、また新たな企画も進んでいるといったことも伺っている。

行徳地区社協会長 金井委員

昨年度から歌声サロンと健康サロンを毎月実施しており、参加人数も伸びている。参加者には100円ずつ参加費をいただいているが、年間を通して黒字の状態となっている。今年度、明日9月9日から3つ目のサロンとして、伊勢宿自治会館にてカラオケサロンを立ち上げる事となった。これは、会場に伊勢宿自治会館を提供していただいたので、初回である明日どれくらいの人数が集まるか当日の楽しみであるが、これまでの状況からすると相当の参加者が見込まれるものと思われる。

事務局

今回、伊勢宿の自治会館にてサロンの立ち上げがあるという予定を紹介いただいた。

塩浜地区において、活動の場の確保がなかなか難しい状況について、今後、どのような形を検討しているかご紹介いただければ。

南行徳第8ブロック 程塚委員

当地区では、まちかど健康サロンという施設をお借りしてサロン活動を行っており、それなりの成果が上がっているが、一歩進んで常設型のサロンが必要ではないかと主張してきた。今年、新たな動きとして、地域福祉支援課からも支援を受けて、在宅介護支援センターに協力いただき、月に1度、相談室ということで開催している。相談ということで、行徳支所までは余程深刻な内容でないと出向くことはないもので、ちょっとした集いのなかで、介護保険の簡単なことから相談できる場を作っている。ゆ

うこう在宅介護支援センターの職員に参加いただいていることにより、ちょっとしたことや細かいことなども相談でき、かなり成果が上がっている実感がある。また、毎週1回、歌のサロンや日曜サロンといった活動も行っているが、月に1度ではなく、今後、量の問題として、中身を濃くしていくということも課題ではないかと考えている。そのような点でも、常設のサロンができる場所が得られればということで、もし、そのような場があったらどのようなことがしたいかといったことも、住民から提案も出つつあるので、また協議していきたい。

事務局

常設型のサロンを目指していこうということで、先ほどの介護保険制度の改正にもあるような身近な場所で支えあっていくような仕組みにつながっていくのではないかとといったことを紹介いただいた。実際、常設型のサロンができたなら、具体的にどのようなことをしていくかといったことも検討することで、実現に向けて行政にも力添えをいただいているように感じている。今後とも、お考えを伺いながら前向きに進めていきたい。

また、在宅介護支援センターとの連携で、サロンと出張相談を合わせた企画も進んでいることも紹介いただいた。これについては、後ほどの「方向性3 地域のつながり・ネットワークの充実」にもつながる事例である。

南行徳北部地区民生委員 堀江委員

サロン森の泉という活動を行っており、方向性として当初は高齢者に集まっていたが、いろいろ活動してもらえれば良いと考えていたが、マンションであることから独居の方も多く、高齢者によっては活動に参加するより、ただ来て話をするだけで楽しい。お茶を飲んで、時には保健センターの保健師による健康体操などを行ったりするが、その際はちょっとした食事を提供し、それを食べながら雑談をするといったことを行っている。

今月から、地域包括支援センターも絡んで、保健センターとともに、なんでも相談室をやってはどうかと企画している。高齢者にとっては、行徳支所に来るのも困難な場合があるので、どこか近くで話を聞いてもらえたり、手続きが簡単に済ませられるようなところがあれば良いといった話を聞いたので、それならばそのような場を作ろうと考えた。今月からは、南部地域包括支援センター、南行徳保健センター、行徳在宅介護支援センター、社会福祉協議会と自分が入る形で開催しようと考えている。サロンの参加者は年々減っており、また、すでに「輪」ができている中に新たに入るのは難しいらしく、年間で見ても1,2人程度しか増えず、減るときは3,4人と亡くなったり、施設に入所したりで、バランスとしては徐々に減ってきている。ということもあり、相談室を設けて、もっと一般の人が来られるように工夫をしていったほうが良いと思っている。

また、せっかく保健センターも来ていることから、子育ての相談にも乗ったらどうだろうかということで考えている。そのようなサロンは、以前は保健センターから乳幼児を持つ母親たちの集いの場としてお願いされていたが、先々月からちょっと途絶えている。子供が育つにつれて、次の世代にうまくバトンタッチするための仲介をする保健センターだと考えている。このようなサロンがあるので、顔を出してみたらといったことで紹介いただくことにより、雨のときなど、また冷房暖房も完備しており、

お茶を飲むのも自由だし、有効に使えているものと思われる。

ただ、何かを新しくやろうというのは、高齢者はあまり意欲的ではない。以前は、押し花教室などをやっていたが、次に何か切り絵や塗り絵などどうかといった提案をしても、意外とやらない、意欲的でない高齢者が多い。本当はカラオケなどが良いと思われるが、以前、三味線をやっていただいたところ、近隣住民からうるさいと苦情が来てしまったことがあり、配慮が必要であった。子供たちが来るともっとにぎやかであるが、それは配慮した形で開催している。

サロンの運営については、より良い方法があれば研究したいが、なかなかそこまで手が回っていないのが現状である。

事務局

サロン 10 年目の節目に新たな方向性として、保健センター、包括・在支、社協といった専門機関と連携し相談窓口を設けていこうといった取り組みや、また、高齢者だけでなく子育て世代も継続的な形で参加できるような取り組みを目指しているということを紹介いただいた。

《方向性 2 担い手の確保・育成》

事務局

介護保険制度の改正からしても、今後、地域づくり、つまりは担い手となる人材の確保と育成に力を入れていく方向性は同じではないかと思われる。地域の皆様におかれては、人材の確保には苦慮していると思われるが、検討あるいは取り組んでいこうと考えていることがあれば紹介いただきたい。

目標において、地域でボランティア活動をする人と担い手を希望する機会が対応しているとあり、ニーズのマッチングになると思われるが、例えば、地域ケアシステムの拠点での相談で、お困りの方々の支援につながったケースがあったという事例があればご紹介いただきたい。南行徳地区では、実際に支援につながった相談があったと伺っているが。

井上コミュニティワーカー

先日、南行徳地区でハイタウン塩浜にお住まいの方から急遽退去を迫られており、すぐに転居の準備を進めなければならないといった相談があり、引越しの手伝いをするボランティアを募るため塩浜地区の程塚委員を含めて相談に乗ったところ、地域にお住まいの方やボランティアセンターの協力により、無事に転居することができたという事例があった。

その事例について、程塚委員からもご紹介いただきたい。

南行徳第 8 ブロック 程塚委員

地域ケアシステムとしては、ボランティアとして取り組みたいことはいろいろある。例えば、ゴミ出しなど現実的に困っている方もおり、それを組織化・制度化できていない段階であるが、今回のケースについては、たまたま期限が迫られていたこともあり、急ぎお手伝いをする事となった。今後、このようなことが増えていくのではな

いかといったことを肌で感じたところである。地域における活動として、このようなことも含めて取り組んでいかなければならないではと実感した。

先ほどの話につながるが、サロン活動の担い手の方々に、常設型のサロンができればどんなことがしたいかといった意見を募ったところ、困った方々に食事を作ってあげたい、お茶の提供などもできればといった声も聞かれた。「食」は、とても人を和ませるので、団地内にはプロの職人もおり、現在も月に1度で食事を500円ワンコインで提供するといった個人的な活動もある。そのようなものも形としてうまく組み込んで、独居の方などを家から引っ張り出していければ良いと感じている。

事務局

急な退去を迫られている方のために、地域の方々の力を集めるきっかけになったというケースであった。また、担い手の方々と常設型サロンに向けた打ち合わせの中で、ゴミ出しや食事の提供についても地域にいらっしゃる方々で力を合わせることもできるかもしれないといった話を伺えた。

井上コミュニティワーカー

行徳地区では、歌声サロンとして毎月活動しているが、行徳地区の橋川委員が中心となって、「行徳サロンズ」として歌声喫茶として生演奏をしていただいている。立ち上げに際しては、橋川委員や相談員を退任された方々にご協力いただき、新たな担い手としてご参加いただいた。

行徳南部地区民生委員 橋川委員

今年3月でちょうど1周年を迎え盛大に行った。立ち上げ当初は独りでやってくれといった話であり大変困ったが、メンバーを募ったところ、地域の方々から素晴らしいメンバーが集まり、ユニフォームをそろえ「行徳サロンズ」と命名し7名で活動することができている。ユニフォームについては、半額を地区社協から援助いただくこともできた。現在のところ、今月17回目となったが、来る方々も常連が増えてきており、中には目の不自由な方もガイドヘルパー同伴で参加し、顔を見て雑談したりお茶を飲んだり、折り紙教室などを行っている。今のところ、女性が9割方であるが、今後、男性の参加も増えれば良いと思われる。今後とも活動を続けられるよう努めいきたい。

事務局

地域のなかで人を募ったところ、実際に7人ものチームが結成できたという事例を紹介いただいた。

南行徳地区社協会長 高本委員

南行徳地区では、本日、男性料理教室の10周年を記念した記念誌発行に向けて会合があった。毎回30名から40名の参加で大変好評とうかがっており、今後、このような活動がさらに広がっていくことと思われる。

10周年の記念誌を作ることにより活動のPRも兼ねているが、ますます参加希望が増えていくのではないかと考えている。そうすると、場所が無いという問題も生じてくる。現在、南行徳公民館で行っているが、これ以上は手一杯である。開催日を増や

せばできなくはないが、そうなるとスタッフの負担が増えてしまう。今後、さらに発展していくうえでは、必要な支援ができればと考えている。

事務局

南行徳地区の男性料理教室が 10 周年を迎えるということで、記念誌の発行を企画していることを紹介いただいた。これは、「方向性 4 PR 活動の充実」といったところにもつながるものと思われる。

《方向性 3 地域のつながり・ネットワークの充実》

事務局

地域のつながり・ネットワークの充実としては、先ほども南行徳第 8 ブロックの福祉相談室や南行徳北部地区のなんでも相談室といった在宅介護支援センターや専門機関等と連携し、サロンにおけるふれあいを通じた活動から専門機関につながる仕組みの事例を紹介いただいた。

南行徳地区第 5 ブロック 矢島委員

自分は左手に障害があるが、地域で活動する際に何か手伝おうとしても、やらなくても良いといったことを言われることが多い。そうなると、障害を持つ身としては、いじけた気分になってしまう。身体障害者が何かやろうとした場合、止めるのではなく、見守っていただければと思う。

事務局

障害を持つ方でも自発的な意識のもと何かしたいといった思いがある。そのようなことを地域の方々も受け止めていただければといったご意見であると思われる。

地域のつながり・ネットワークの中では、障害をお持ちの方でも自立した生活を目指していきたいという思いを受け止めるような地域づくり・ネットワークづくりができれば良いと思われる。

《方向性 4 PR 活動の充実》

事務局

PR 活動としては、先ほど南行徳地区の男性料理教室の 10 周年の記念誌の発行といったところも紹介いただいた。参加者への PR を行うことにより、その口コミでさらなる PR につなげていくのもひとつの方法であると思われる。

南行徳北部地区民生委員 堀江委員

現在の男性料理教室については、参加者がいっぱいでもっと大きな施設がないと、これ以上増やせない状況である。ここまで盛り上がっているのは、南行徳地区の男性料理教室だけと聞く。他の地区でも男性料理教室の試みがあっても、なかなか参加が少ないといった話を聞いている。当地区においても、当初はなかなか参加者が集まら

なかったが、口コミで徐々に増やしていったという経緯がある。本日の記念誌発行の会議でも話になったが、記念誌を作ってレシピなどを掲載したものを他の地区にも配ったら、反響があるのではないかと。南行徳地区社協の成果として、来年5月末をめどに発行を目指している。

事務局

南行徳地区の男性料理教室には、毎回多くの参加者がいるとのことであり、他の地区にも成功している事例として参考になるものと思われる。

PR活動としては、社会福祉協議会のホームページがリニューアルされているようである。

山口コミュニティワーカー

社会福祉協議会では、若い母親がサロンの情報を仕入れるのにスマートフォンなどでホームページを見たり、年配の方々でもインターネットを通じて情報収集しているといった話を聞いている。これまでの社会福祉協議会のホームページが分かりにくい、知りたい情報につながりにくいといった状況があったため、今年度、見直しして、少しでも分かりやすいものを目指しているところである。今後とも、ホームページをご覧いただき、ご意見をいただければと考えている。

南行徳第5ブロック 歌代委員

市川市の地域振興課では、今年の夏の各地域の自治会の盆踊り大会のスケジュールをホームページにアップしていた。そのようにサロン活動の状況やイベント情報についても、掲載していくと良いのでは。

事務局

サロン活動や地域のイベントなどもホームページで紹介していければと考えている。

南行徳北部地区民生委員 堀江委員

何かしらのイベントを開催してはどうか。南行徳地区社協だけでなく、行政も入って、地域ケアシステムのイベントというのはどうか。例えば、七中の校庭を全部借りてやるなどどうか。

事務局

ありがたいご提案いただいた。社協が主催している「てるぼサロンまつり」において、市内全域のサロン活動の情報交換や研修ともなっているので、そのような機会も通じて、地域ケアシステム、サロン活動、地域のイベントなども、一般の方々に広がっていくように取り組んでいきたい。

南行徳第8ブロック 程塚委員

塩浜地域では、4自治会の合同夏祭りが今年13回目を数えた。そこに地域ケアシステムとしても出店したが、その際、地域ケアシステムをPRできるような「幟」があれば良いといった話があった。社協に相談したところ、地域ケアシステムという名

前を知らしめるためには、そのような形も面白いものと思われる。例えば、バス研修などで集合する際にも、そのような「幟」があれば PR にも目印にもなる。スタッフからこのような意見が出たが、これは勝手に作成してよいものか？それほど高額になるものでもないので、今後の行事の際にも利用できるのでは。

南行徳第 5 ブロック 歌代委員

南行徳地区社協の検討課題として考えてはどうか。

南行徳地区社協会長 高本委員

良い提案だと考えている。

南行徳第 8 ブロック 程塚委員

きれいな色のものであれば、スタッフも楽しい気分になれるし面白いものとなるのでは。スタッフからの提案であったが、PR ということでは良いものではないか。

事務局

地域のイベントなどにおける PR の方法として、「幟」を作ってはどうかといったご提案をいただいた。

■次第 3. その他

事務局

《資料説明 資料 3 平成 26 年度 地域福祉推進関連予算（抜粋）》

南行徳保健センター 五十嵐主幹挨拶

事務連絡

- ・報償費について
- ・議事録について
- ・その他

事務局 野口課長

介護保険制度の改正に対応するため、皆様のご意見を伺いながら進めていきたい。今後ともよろしく願いしたい。

19 : 50 終了